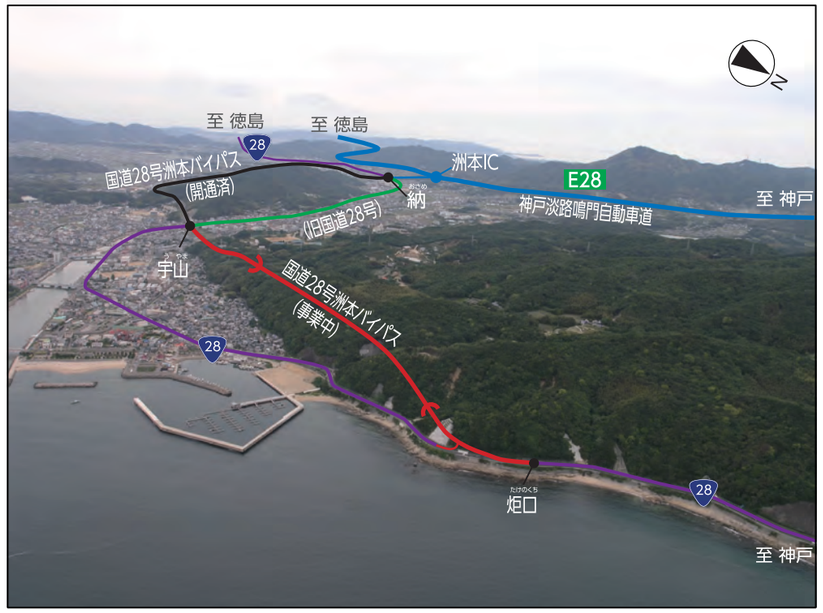
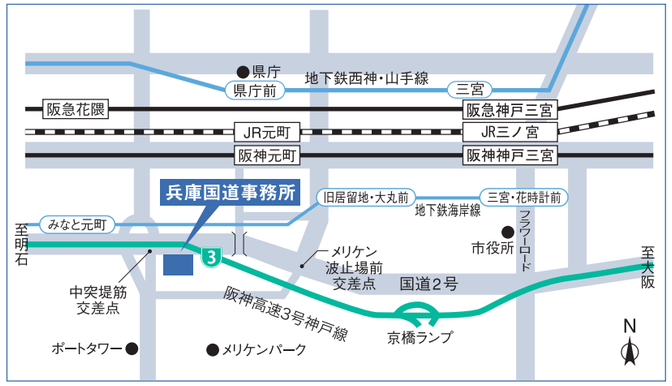
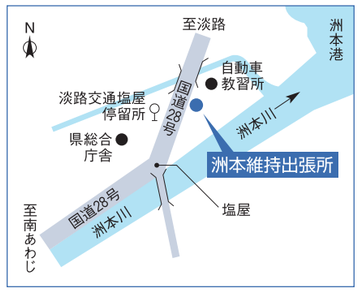


洲本市炬口付近より南西を望む





国土交通省 近畿地方整備局
兵庫国道事務所

〒650-0042　神戸市中央区波止場町3-11
TEL 078-334-1600(代)　FAX 078-334-1998

ホームページ
https://www.kkr.mlit.go.jp/hyogo/

HPはこちらの
QRからも
アクセスできます

洲本維持出張所

〒656-0021　洲本市塩屋2-1-57
TEL 0799-22-1680(代)　FAX 0799-22-4429

※各出張所の代表電話回線は、午後5:15～翌朝8:30までの間、
すべて兵庫国道事務所につながります。

道路緊急ダイヤル
全国共通電話番号 **#9910**

LINE通報

道路の異常を発見したらお知らせ下さい
落下物　落石 落木　雪崩 気象災害　路面の穴ぼこ　道路施設の破損　など
運転中の通話は道路交通法により禁止されています。
安全な場所に停車してからのご連絡をお願いします。

このパンフレットは、再生紙を使用しています。
R7.3

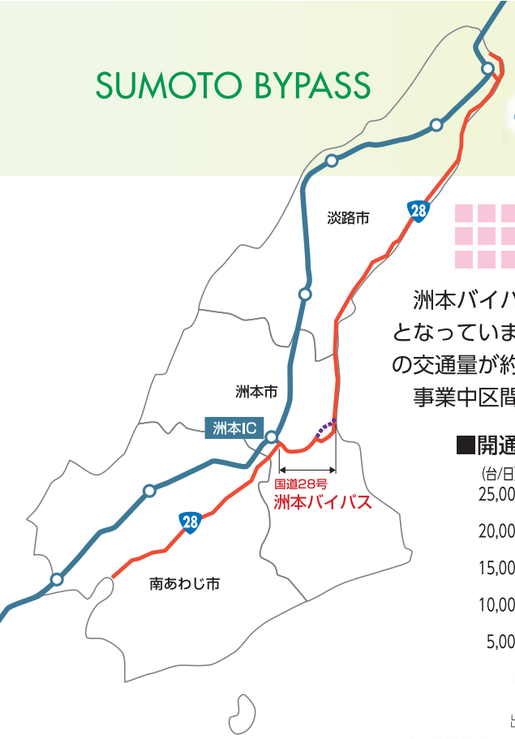
一般国道28号

洲本バイパス

国土交通省 近畿地方整備局
兵庫国道事務所

SUMOTO BYPASS

より快適で、より安全な　国道28号を目指して。

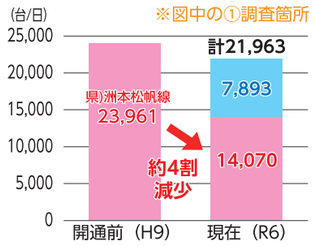


交通混雑の緩和

洲本バイパスの事業中区間と並行する国道２８号の交通量は、交通容量の約1.4倍となっています。一方、H12年4月開通済区間では、県道洲本松帆線（旧国道２８号）の交通量が約4割減少しています。

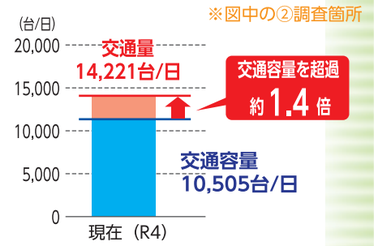
事業中区間の整備により、交通の転換が図られ、交通混雑の緩和が期待されます。

■開通済区間の交通量の推移



出典）交通量（H9）：H9全国道路・街路交通情勢調査
交通量（R6）：兵庫国道事務所調べ

■事業中区間の断面交通量と交通容量



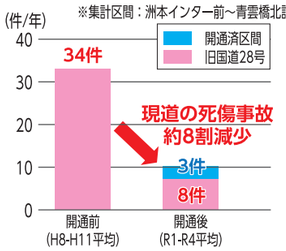
出典）交通量：兵庫国道事務所調べ
交通容量：R3全国道路・街路交通情勢調査

交通安全の確保

事業中区間と並行する国道28号の死傷事故件数は年間平均９件発生しているほか、歩道幅員が狭く、通学路指定区間等において、歩行者・自転車の安全確保が課題となっております。

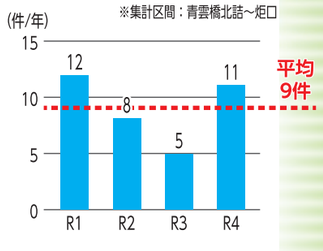
開通済区間では、死傷事故件数が減少しており、バイパス整備により交通転換が図られ、国道28号の安全性の向上が期待されます。

■開通済区間の死傷事故件数の推移



出典）交通事故・道路統合データベース

■事業中区間の死傷事故件数の推移



出典）交通事故・道路統合データベース

■通学状況　写真

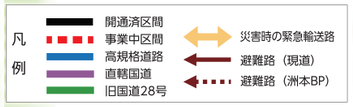
撮影：平成30年5月

災害時の代替路の確保

平成１６年の台風２３号では、旧国道２８号及び国道２８号が冠水し通行止めとなりましたが、開通済区間が現道の代替路として機能しました。事業中区間の国道２８号の一部は、南海トラフ巨大地震時の津波浸水想定範囲に位置しています。洲本バイパスの計画高さは想定津波高さよりも高く計画されているため、災害時の避難路及び緊急輸送路として機能することが期待されます。

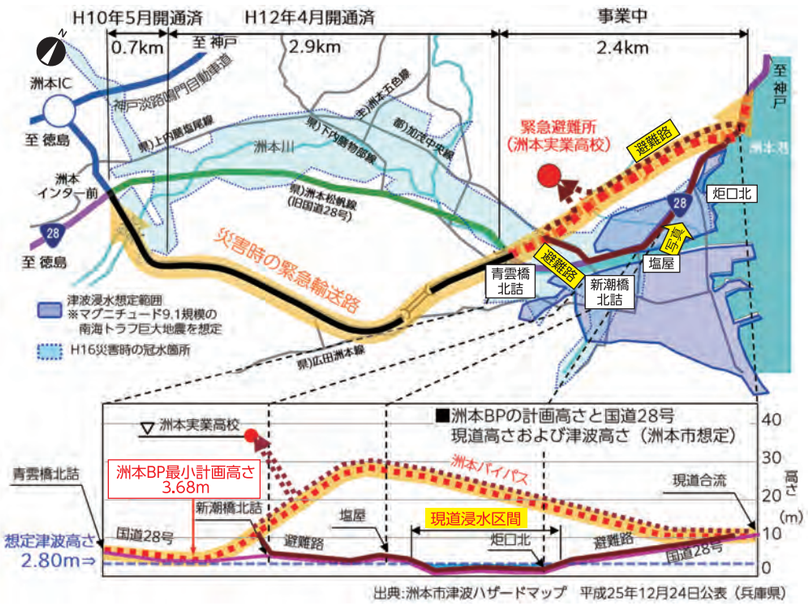
■国道28号の冠水状況

撮影：平成16年10月20日



高台にある洲本実業高校に避難する場合、現状では大型車の通行ができないが、洲本バイパス整備により、大型車の通行が可能となり、救援物資の輸送や大型バスによる避難など、円滑な避難が可能になる。

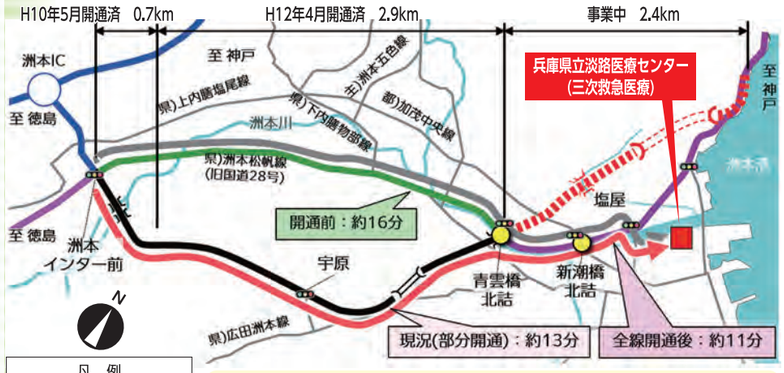
洲本市都市整備部ヒアリング（R6年7月）



出典：洲本市津波ハザードマップ　平成25年12月24日公表（兵庫県）

地域医療の支援

洲本インター前交差点から淡路島唯一の三次救急医療施設までの到着時間は、開通前の約16分から現況で約13分に短縮されており、全線開通するとさらに約11分まで短縮されます。さらに、重症救急患者に対応する三次救急医療施設へのアクセス向上が期待されます。



・現国道28号は、交通量が多く道幅が狭いため、混雑時に通行しにくい場合があります。
・洲本バイパスの部分開通でルートの選択肢が増え、消防・救急活動がしやすくなりました。
・洲本バイパスの全線整備で交通が分散し走行しやすくなるほか、南海トラフ地震時にも有効な幹線道路となることを期待します。

淡路広域消防事務組合ヒアリング（R6年7月）

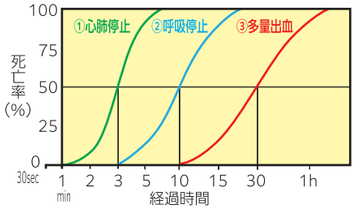
■淡路医療センター（三次救急医療施設）

出典：兵庫県立淡路医療センターHP

■所要時間（洲本IC前交差点～淡路医療センター）

	所要時間	短縮時間
開通前	約16分	－
現況（部分開通）	約13分	3分短縮
全線開通	約11分	2分短縮

■緊急事態における時間経過と死亡率の関係



出典：（M.Cara：1981.「カーラーの曲線」一部改変）

概 要

国道28号は、神戸市を起点として徳島市にいたる総延長約200kmの幹線道路で、淡路島内の経済、産業活動、地域の生活道路として大きな役割を果たしてきました。近年、交通量の増加や地域開発などから、洲本市街地をはじめとして交通混雑が発生し、地域の人々の生活にも影響を及ぼしています。

洲本バイパスは、神戸淡路鳴門自動車道洲本ICと洲本市街地のアクセスを強化し、通過交通を市街地からバイパスへに転換させ、交通混雑の緩和を図るため計画された延長6.0kmのバイパス道路です。

平成10年5月に大野～納間（延長0.7km）、平成12年4月には宇山～大野間（延長2.9km）を開通いたしました。

現在は、残る炬口～宇山間（延長2.4km）の開通を目指して整備を進めています。

■事業中区間の渋滞状況

国道28号の混雑状況（青雲橋北詰交差点）
撮影：令和6年6月17日

計画諸元

区　　間	洲本市　炬口（おこのくち）～納（おさめ）
延　　長	6.0km
規　　格	第3種第2級
車 線 数	2車線
設 計 速 度	60km/h
最急縦断勾配	5.4%
最小曲線半径	150m

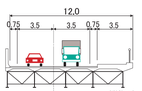
事業の経緯

昭和48年～52年	調　査
昭和54年12月	ルート承認
昭和57年6月	都市計画決定
昭和60年度	事 業 化
昭和63年度	用地着手
平成元年度	工事着手
平成10年5月15日	大野～納間供用 L=0.7km
平成12年4月28日	宇山～大野間供用 L=2.9km

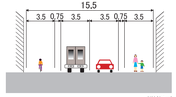
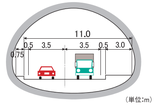
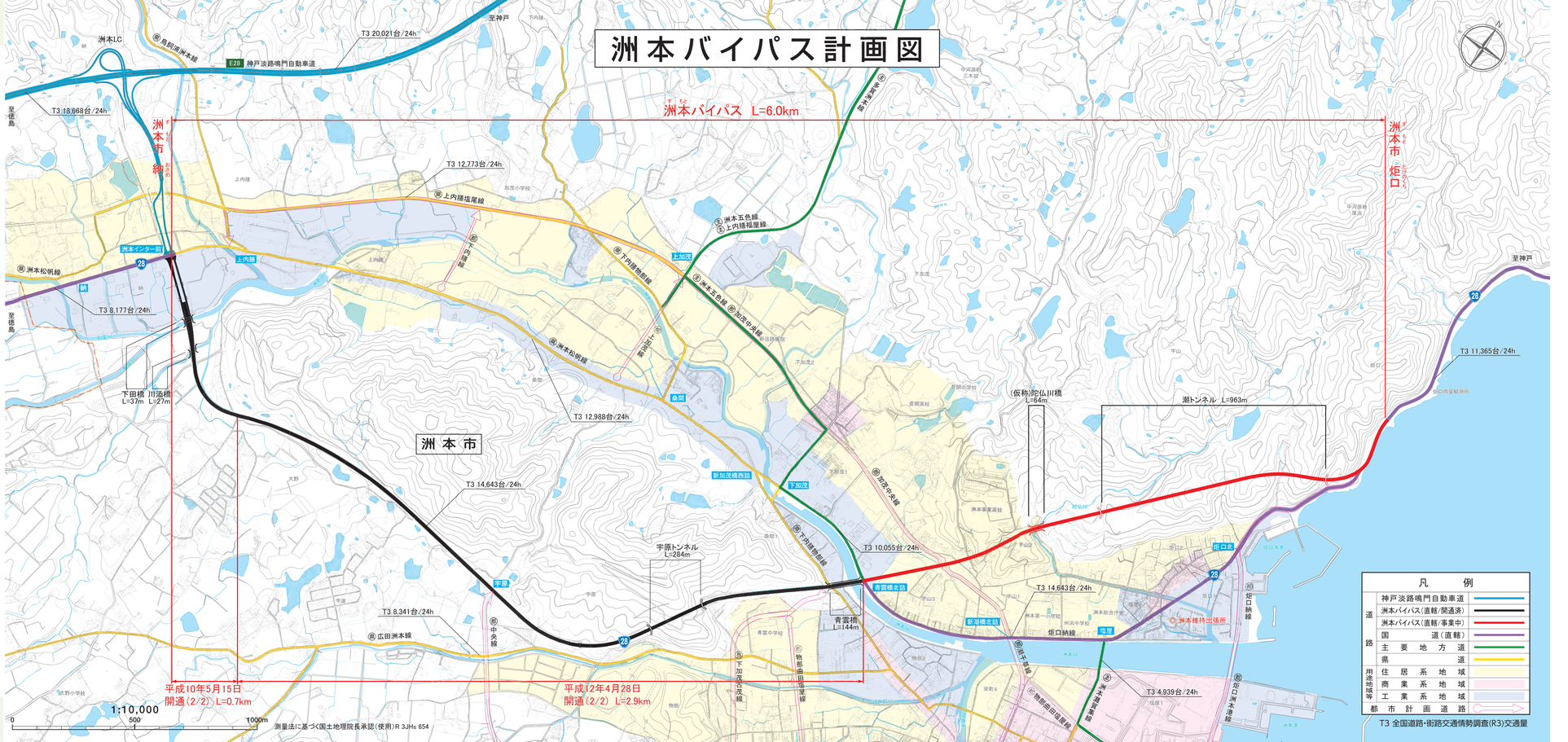
標準断面図

一 般 部

橋 梁 部



市街地部



トンネル部